

地域科学館連携支援事業

●平成13年度支援企画一覧

テーマ名	科学館名
移動式プラネタリウムによる天文学習	余市宇宙記念館
環境調査にかかわる巡回・貸出セットのキットの製作貸出	小樽市青少年科学技術館
天文授業支援システム	北網圏北見文化センター
IISSを利用した生きもの調査全国版	仙台市科学館
移動天文教室	八戸市児童科学館
児童・生徒による生物的指標を用いた身近な環境調査支援	七尾少年科学館
生き物調査2001(運用・活性化プラン)	科学技術館
川を学習の場とした体験学習プログラム	さいたま川の博物館
バイオ・デリバリーキットの製作と学習プログラムの作成	千葉県立中央博物館
児童・生徒が作る分布図支援システムの開発	群馬県立自然史博物館
落ちるとどうなるの？(宇宙環境と地球)	つくばエキスポセンター
高校の物理における単元「電子・原子・物質」の教材開発	名古屋市科学館
「総合的な学習の時間」における環境教育学習 ー河川の浄化作用を教材としてー	岐阜県先端科学技術体験センター
伊丹から宇宙へ『H-II Aロケット打上げ』モデル授業	伊丹市立こども文化科学館
学校を利用した青少年のための天体観察教室	京都市青少年科学センター
”出前で～す”星空探訪隊	にしわき経緯度地球科学館
みる・きく・さわる デジタル技術	みさと天文台
科学館企画展示『大地のなぞをさぐる』の学習利用の推進	姫路科学館
TV会議システムで科学館と学校の連携を図る	防府市青少年科学館
移動可能な高性能光学式プラネタリウムの開発とその活用	倉敷科学センター
巡回展「銅製錬今昔物語」及び関連事業の実施	愛媛県総合科学博物館
移動天文教室～コスモスクール・キャラバン～	福岡県青少年科学館

企画概要

※各館の報告書より

より詳しい内容(連携形態、実施内容、評価、支援
内容等)については、企画ごとの報告書をダウン
ロードしてください(pdfファイルになっていま

す)

移動式プラネタリウムによる天文学習



余市宇宙記念館

移動可能なプラネタリウムを地域の学校等へ巡回し、科学館職員による出前授業を行うことで、児童・生徒へ天文学習の機会を広げ、天文教育と天文学に対する寄与及び科学館と学校教育の連携を図った。



報告書



14年度活動報告書



科学館HP

*

環境調査にかかわる巡回・貸出セットのキットの製作貸出

小樽市青少年科学技術館

NOW
PRINTING

学校の授業等で環境調査、特に水質や大気などを中心に一般環境の調査を行うために必要な器具や測定器を、子供たちのレベルに合わせて揃えた「環境調査キット」を製作し、学校等に貸し出す。



報告書

*

天文授業支援システム



北網圏北見文化センター

遠隔監視システムを応用し、プラネタリウム側に映像送出ラック、学校側に移動コーデック装置を置き、プラネタリウム効果を映像で送り音声を双方向の対話型通信でつなぎ授業への支援活用をします。



報告書



科学HP

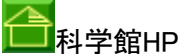
*

IISSを利用した生きもの調査全国版



仙台市科学館

平成12年度に制作され、平成13年に運用を開始した6館連携「生き物調査」の調査対象地域を拡大し、拠点館等の所在する10都道府県単位の地域、学校が利用可能なIISS調査システムを制作した。

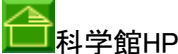
*

移動天文教室



八戸市児童科学館

科学館から、職員が望遠鏡・デジタルカメラ・フォトプリンターを持って、各学校を会場に移動天文教室を行う。その時得られたデータを元に各学校のコンピュータを使って子どもたちが報告集や感想文を作成して科学館へ送る。

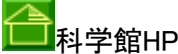
*

児童・生徒による生物学的指標を用いた身近な環境調査支援

NOW
PRINTING

七尾少年科学館

七尾少年科学館と七尾市内の小・中学校が連携しながら、児童・生徒による身近な環境調査を観察機器を用いて支援してきた。調査内容は、マツ葉の気孔の様子や土壌動物・水生昆虫の種類、校地に生育する自生種の種類などの状況把握から環境を推測する手法を主としている。なお、平成13年度は、小学校3校、中学校2校で、延べ10回実施した。

*

生き物調査2001(運用・活性化プラン)



科学技術館

平成12年度に拠点科学館連携支援事業として整備されたコンテンツ「生き物調査2001」の運用段階として平成13年5月～10月にかけ6館連携によりセミの調査を実施した。本事業においては各館が連携した参加型プログラムの活性化を目的としたツールの開発を行い、観察キットについて来館者を中心にモニター調査を行った。本格運用は14年度である。



報告書



科学館HP

*

川を学習の場とした体験学習プログラム

さいたま川の博物館

NOW
PRINTING

理科学習や総合的な学習の時間の取り組みに対応して、「川を学習の場」とする体験を重視した学習プログラムを作成し、必要な用具、器具、学習の手引き等を提供することにより、学校における科学技術教育を支援する。



報告書



科学館HP

*

バイオ・デリバリーキットの製作と学習プログラムの作成

千葉県立中央博物館



生物および生命に関連した貸出学習キット「バイオ・デリバリーキット」を製作し、学校において総合的な学習に対応した出前授業やキットの貸出を行うとともに、連携館が互いに機器や資料の貸出、融通を図ることにより科学教育活動の機動性を向上させる。



報告書



科学館HP

*

児童・生徒が作る分布図支援システムの開発

群馬県立自然史博物館

NOW
PRINTING

仙台市科学館のグループと協同で、生き物調査を行うことになった。調査項目の選定と調査方法を検討したのち、連携機関と学校とで具体的な進め方を検討した。



報告書



科学館HP

*

落ちるとどうなるの？（宇宙環境と地球）



つくばエキスポセンター

子どもたちのあこがれである宇宙、ロケットなどの宇宙開発分野についての理解を進めるための展示教材、実験装置等を製作し、科学館ではサイエンスショーや実験教室、学校では通常の授業とはひと味違った中規模の実験授業や、学校行事として活用した。



報告書



14年度活動報告書



科学館HP

*

高校の物理「電子・物質」の教材開発



名古屋市科学館

高校物理の授業において、概念を教えるだけになりがちな単元「電子・原子・物質」において実験を行うことで理解を深める。光の粒子性と波動性を同時に観測する実験や宇宙線の可視化を行った。



報告書



科学館HP

*

「総合的な学習の時間」における環境教育学習 ー河川の浄化作用を教材としてー



岐阜県先端科学技術体験センター

1. 活性汚泥を使った、河川の浄化作用の実験装置の貸し出しと出張授業
2. 土岐川水系（一級河川）の生徒による水質調査（ポータブル水質調査機器）とWebコンテンツ（地図ソフト連動）によるデータ共有
3. 学校での蛍・黒メダカの飼育と放流の支援



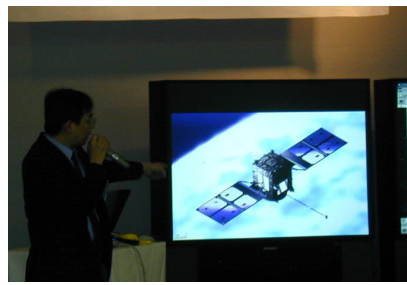
報告書



科学館HP

*

伊丹から宇宙へ『H-IIAロケット打上げ』モデル授業



伊丹市立こども文化科学館

日本の科学技術の最先端分野である宇宙開発計画を紹介するモデル授業を実施し、その記録映像・素材を活用し、こどもの視点に立った展示物を完成させる。



[報告書](#)



[科学館HP](#)

*

学校を利用した青少年のための天体観察教室



京都市青少年科学センター

街中で星空を観ることの少ない子供たちに、望遠鏡で星を見る機会を設けることにより、広大な宇宙への夢を与えるとともに、科学への興味関心を高めることを目的とする。指導者が、星の話や「月のかたち早見ばん」作りなど指導した後に、望遠鏡による天体観察を行う。



[報告書](#)



[14年度活動報告書](#)



[科学館HP](#)

*

”出前で～す”星空探訪隊



にしわき経緯度地球科学館

小・中学校を中心に、幼稚園や高等学校などに本格的な天体望遠鏡を持ち込み、本物の星を見る機会を作る。内容は、学習指導要領に基づいて行い、理科の学習における天文分野の理解を深めるとともに、星や宇宙への興味、関心を高める。



[報告書](#)



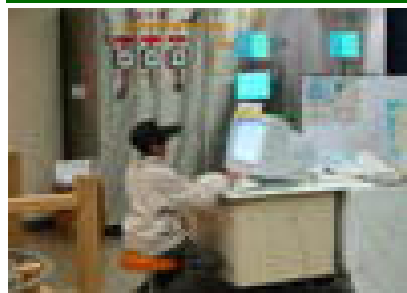
[14年度活動報告書](#)



[科学館HP](#)

*

みる・きく・さわる デジタル技術



みさと天文台

小中学校、科学館、天文台を結ぶ通信ネットワークによる連携により、各施設の設備を活かした観測データなどをインターネット中継し、TV会議システムを用いて説明を行い、それと共に、インターネット中継で使用する設備の「デジタル技術の原理」をわかりやすく可視化、実体験できる展示、実験、イベントを行う。



[報告書](#)



[科学館HP](#)

*

科学館企画展示『大地のなぞをさぐる』の学習利用の推進



姫路科学館

企画展「大地のなぞをさぐる」の展示内容の一部を学校へ移動科学館として供して、学習の一助とし、科学館での展示によって学習の深化を図った。



[報告書](#)



[科学館HP](#)

*

TV会議システムで科学館と学校の連携を図る



防府市青少年科学館

地域に密着した科学館として、科学センター的役割を果たすため、TV会議システム導入によって、地域の学校との連携活動を通じて、青少年の自然や科学への興味を喚起させる。対象校は、市内の小学校でも離島、又は遠方の小学校4校をモデル校とする。



[報告書](#)



[科学館HP](#)

*

移動可能な高性能光学式プラネタリウムの開発とその活用



倉敷科学センター

プラネタリウムは基本的に『利用者が施設に足を運ばなければ利用できない設備』である。コンパクトで操作性の良い移動型プラネタリウムを開発することにより、学校、プラネタリウム施設を持たない科学館等施設、イベント会場などで、投映活動を実施する。



[報告書](#)



[14年度活動報告書](#)



[科学館HP](#)

*

巡回展「銅製錬今昔物語」及び関連事業の実施



愛媛県総合科学博物館

科学館員が、模型や実物資料を持って学校へ出向き、地元の産業である銅製錬について、出前授業を行う。この授業では、郷土が世界に誇った別子銅山の歴史を振り返るとともに、現在の発達した銅製錬技術について学習する。



[報告書](#)



[14年度活動報告書](#)



[科学館HP](#)

*

移動天文教室～コスモスクール・キャラバン～



福岡県青少年科学館

移動可能かつ高性能の天体観測機材等を開発するとともに、福岡県内の小・中学校と連携を深めることにより、各学校においてより有意義な天体学習教室を計画、実施する。



[報告書](#)



[14年度活動報告書](#)



[科学館HP](#)

お問い合わせ：

独立行政法人科学技術振興機構

科学コミュニケーションセンター

連携推進担当

本事業は終了しており、ご覧いただいているページは事業運営当時のウェブサイトをそのままPDFにしているものであるため、外部リンクの接続や拡大・縮小機能等は使えません。ご了承ください。